

2018年(平成30年)3月期 第2四半期 決算補足説明資料

2017年11月

(証券コード:4553)

まとめ

- ・ 売上高は前年同期比10.3%増。近年の追補品も順調に推移し、ほぼ計画通りの進捗。
- ・ 売上原価率は53.2%（前年同期比-0.7pt）。追補品の販売増加および生産効率の改善が要因。
- ・ 営業利益は前年同期比118.6%増。研究開発費の費消の遅れ等により販管費が減少したことが要因。9月19日に発表した修正計画通りの進捗。
- ・ 経常利益は、前年同期は為替相場の急激な円高傾向に伴うデリバティブ評価損(2,374百万円)が発生したが、当第2四半期ではデリバティブ評価益(564百万円)が発生したことにより大幅な増益となった。
- ・ 通期業績計画については、下期に研究開発費の費消が進み、販売管理費が増加する計画であり、修正していない。

2018年3月期第2四半期 決算概要

- 売上高 : 近年の追補品も順調に推移し、増収
- 営業利益 : 主に研究開発費の減少により販管費が減少し、増益

(単位: 百万円, %)

期 項目	18/3 2Q			17/3 2Q		
	金額	対売上高 比率	前年同期 比	金額	対売上高 比率	前年同期 比
売上高	44,698	100.0	+ 10.3	40,521	100.0	+ 3.5
売上原価	23,779	53.2	+ 8.9	21,834	53.9	+ 13.4
販管費	15,841	35.4	- 3.2	16,363	40.4	+ 13.7
営業利益	5,078	11.4	+ 118.6	2,323	5.7	- 57.9
経常利益	6,058	13.6	-	383	0.9	- 93.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,303	9.6	-	85	0.2	- 97.9

(為替レート: TTM) 1ドル

2017/9	2017/6	2017/3	2016/9	2016/6	2016/3
112.73円	112.00円	112.19円	101.12円	102.91円	112.68円

2018年3月期第2四半期 決算概要(計画進捗率)

- 売上高 : ほぼ計画通りの進捗
- 営業利益 : 下期に販管費の費消が進み、通期ではほぼ計画通りとなる見込み

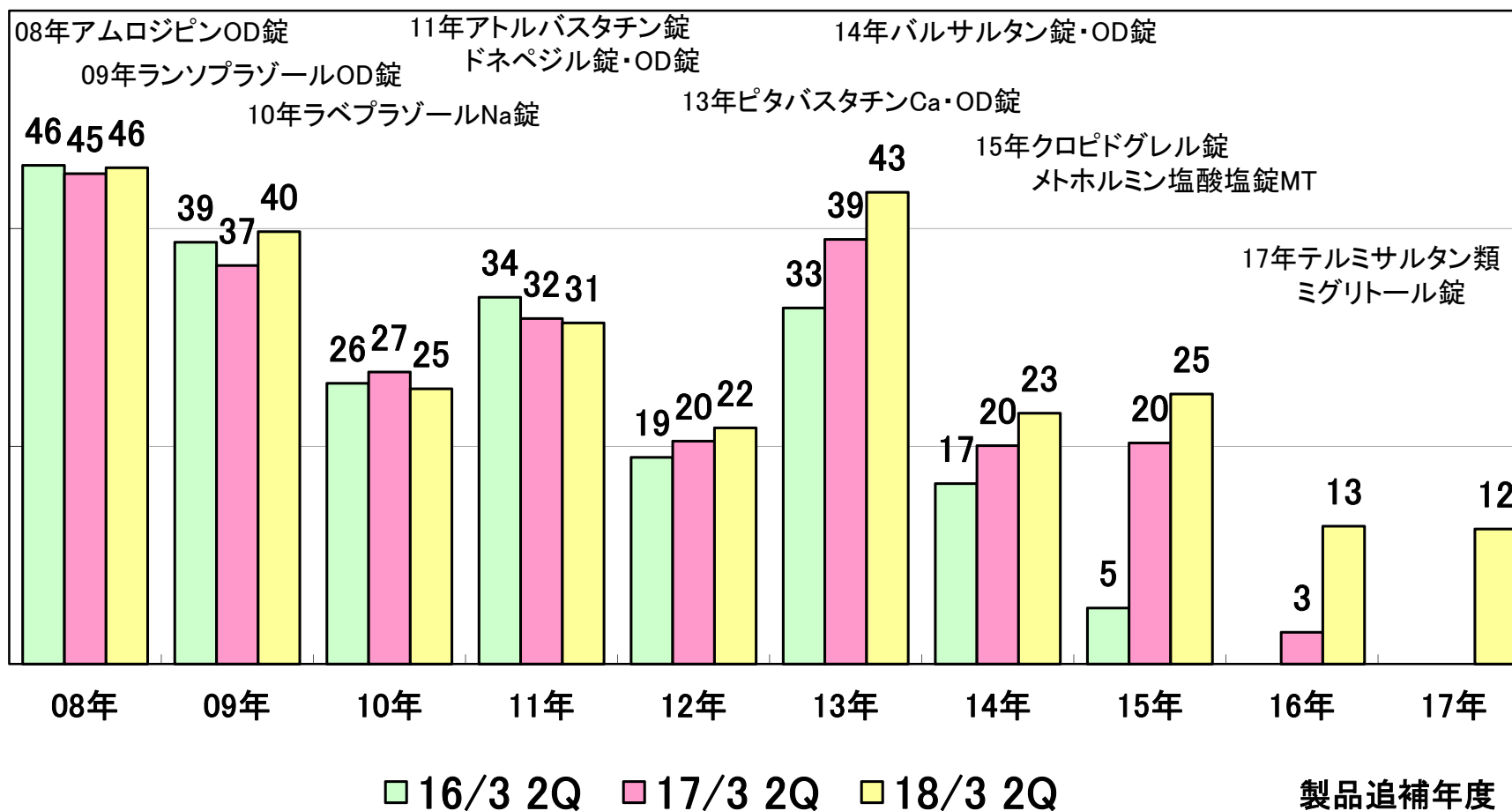
(単位:百万円, %)

期	18/3							
	2Q実績		2Q計画(9/19発表)			通期計画		
項目	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率	達成率	金額	対売上高比率	進捗率
売上高	44,698	100.0	45,000	100.0	99.3	94,000	100.0	47.6
売上原価	23,779	53.2				51,300	54.6	46.4
販管費	15,841	35.4				34,100	36.3	46.5
営業利益	5,078	11.4	5,000	11.1	101.6	8,600	9.1	59.0
経常利益	6,058	13.6	5,000	11.1	121.2	8,500	9.0	71.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,303	9.6	3,500	7.8	123.0	5,800	6.2	74.2

追補年度別売上高推移

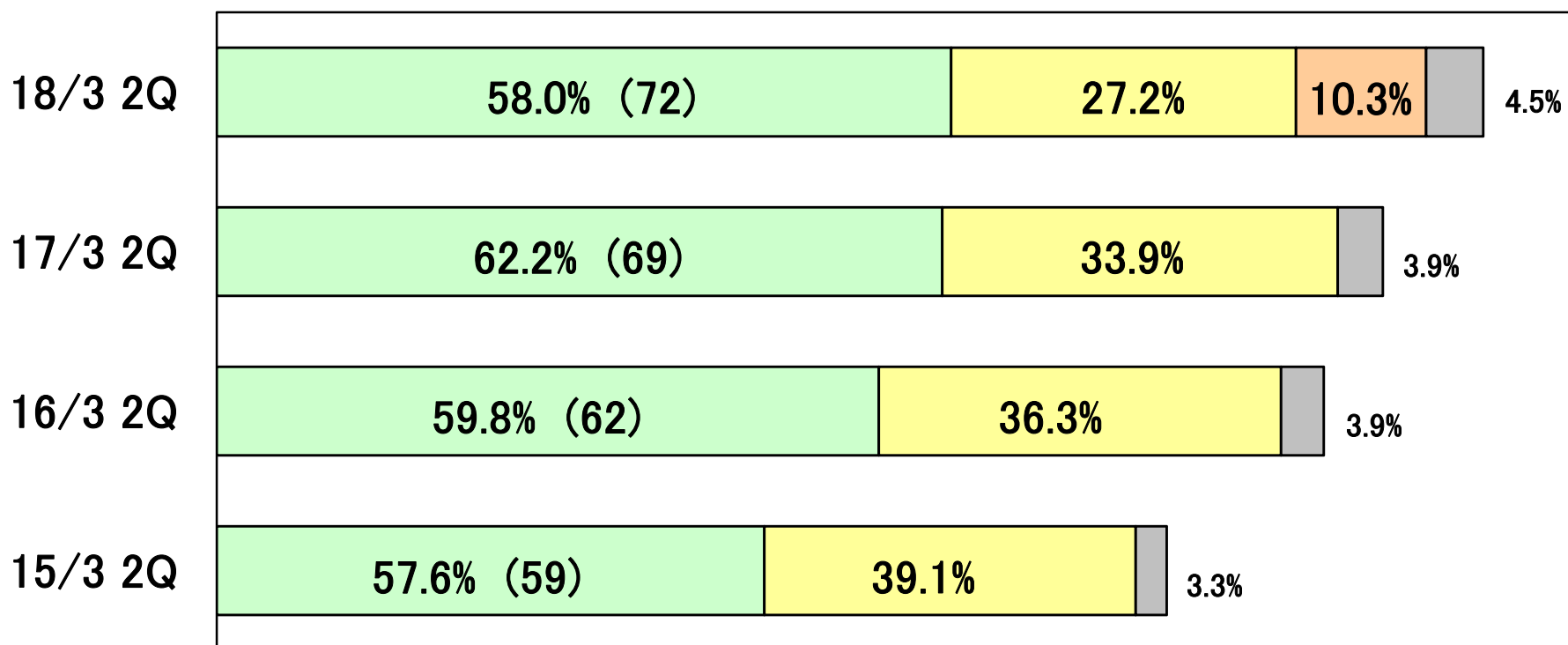
● 販売数量増で売上高が増加、近年の追補品も順調に伸長

億円
60



販路別売上高推移

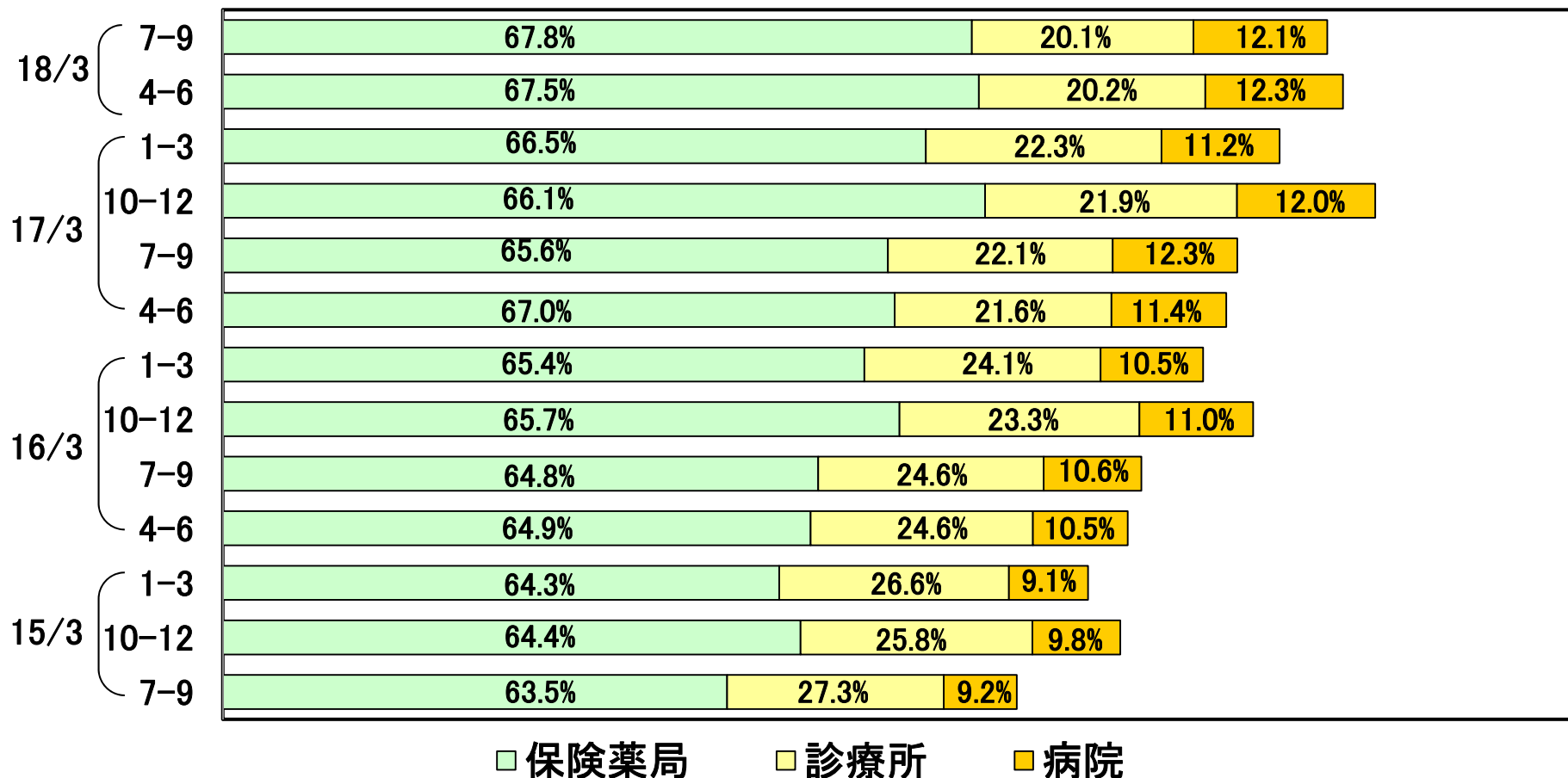
- 営業所の新設、本社取引の拡大などにより、代理店比率が低下
- 今期より医薬品卸との協業を開始し、順調に比率が上昇



□ 営業所・本社 □ 代理店 □ 医薬品卸 □ その他(他社販売・受託・輸出)
()は営業所数

納入先別売上高推移

● 保険薬局と病院の売上が順調に推移



(他社販売等を除く。診療所+保険薬局+病院を100%としている。)

販売費及び一般管理費

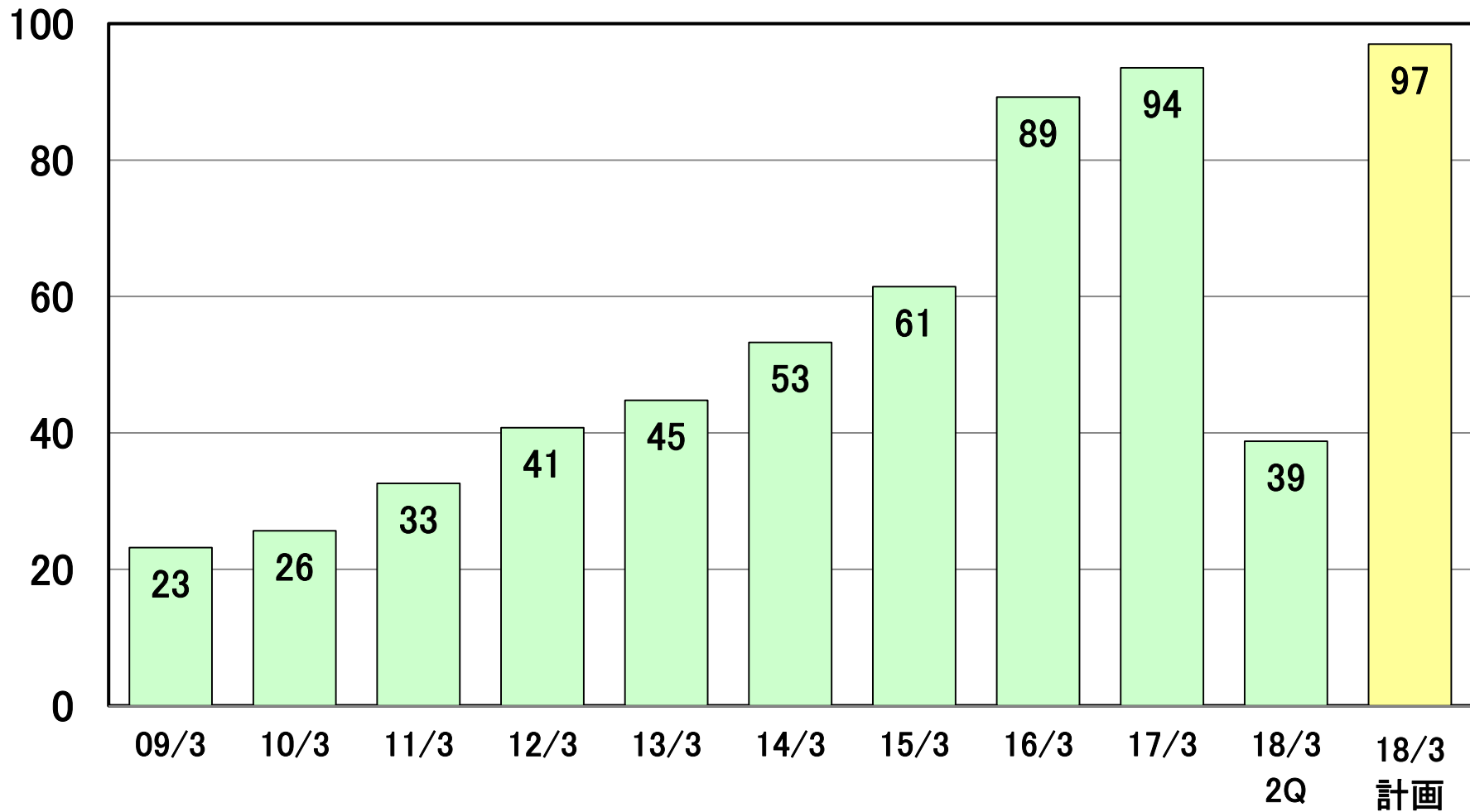
- 販管費は前年同期比3.2%減少
- 研究開発費が前年同期比で大幅に減少

(単位:百万円, %)

期	18/3 2Q			17/3 2Q		
	金額	対売上高 比率	前年同期 比	金額	対売上高 比率	前年同期 比
人件費	6,660	14.9	- 0.5	6,695	16.5	+ 14.6
研究開発費	3,878	8.7	- 18.7	4,771	11.8	+ 28.1
荷造費	1,019	2.3	+ 3.2	987	2.4	+ 34.7
減価償却費	580	1.3	+ 13.0	513	1.3	+ 14.2
広告宣伝費	522	1.2	- 4.3	545	1.3	- 32.1
その他	3,181	7.1	+ 11.7	2,849	7.0	+ 0.5
販管費	15,841	35.4	- 3.2	16,363	40.4	+ 13.7

研究開発費推移

億円



貸借対照表

- 商品及び製品の減少：在庫回転月数の短縮（5.5ヶ月 前期末比-0.2ヵ月）
- 建物及び構築物の増加：東日本物流センター建築工事が主な要因
- 長期借入金：山形工場増改築資金として9,000百万円の借入れを実施

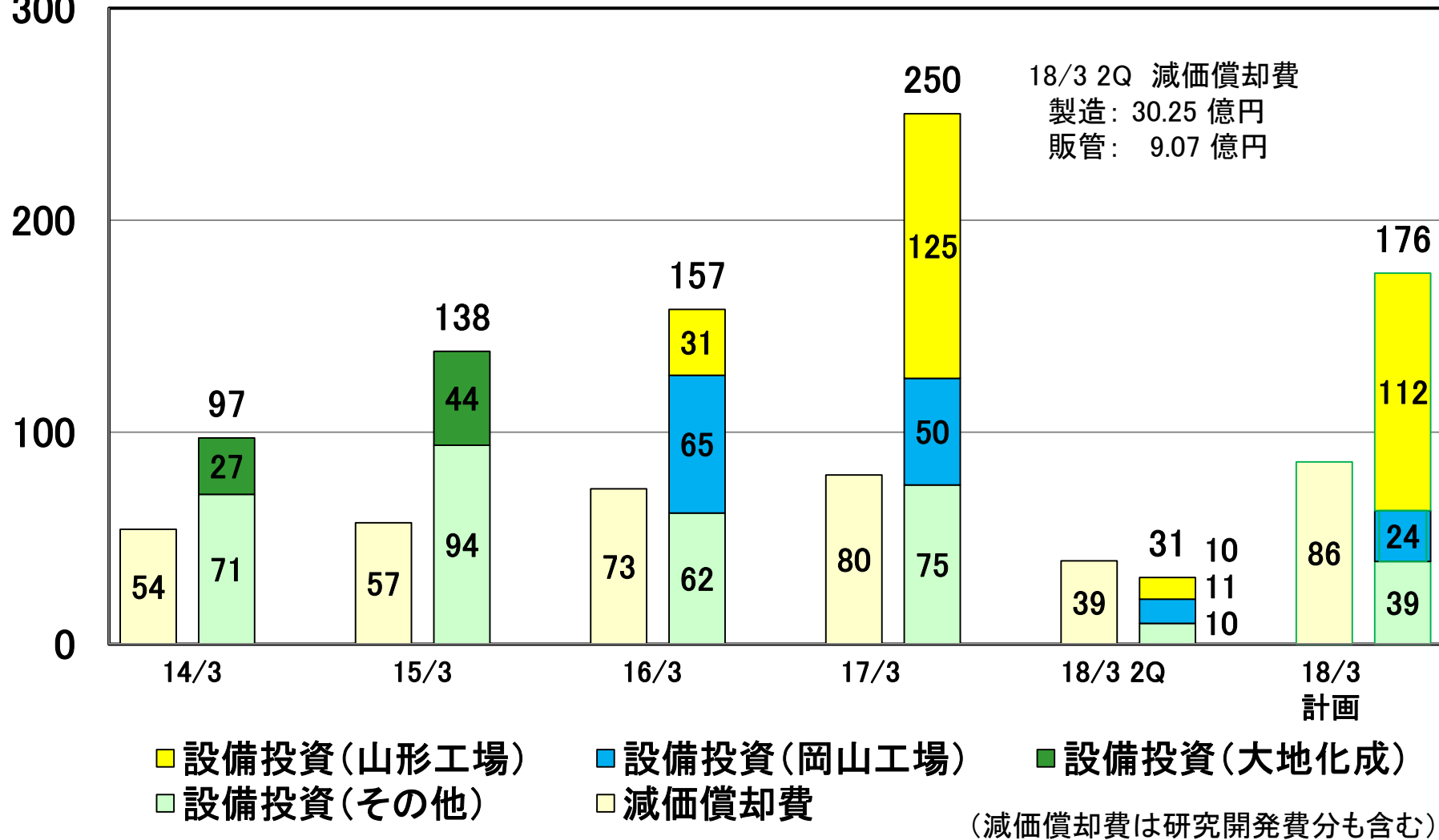
(単位:百万円)

項目	17/9	17/3	増減
現金及び預金	16,493	9,444	+ 7,048
受取手形 及び売掛金	22,216	19,627	+ 2,588
電子記録債権	5,864	6,597	- 732
有価証券	2,000	6,000	- 4,000
商品及び製品	21,043	22,510	- 1,467
その他流動資産	25,441	22,371	+ 3,069
流動資産計	93,058	86,552	+ 6,506
建物及び構築物	34,377	29,830	+ 4,546
機械装置及び運搬具	14,697	15,148	- 450
建設仮勘定	13,448	18,279	- 4,830
その他固定資産	15,572	15,436	+ 136
固定資産計	78,096	78,695	- 598
資産合計	171,155	165,247	+ 5,908

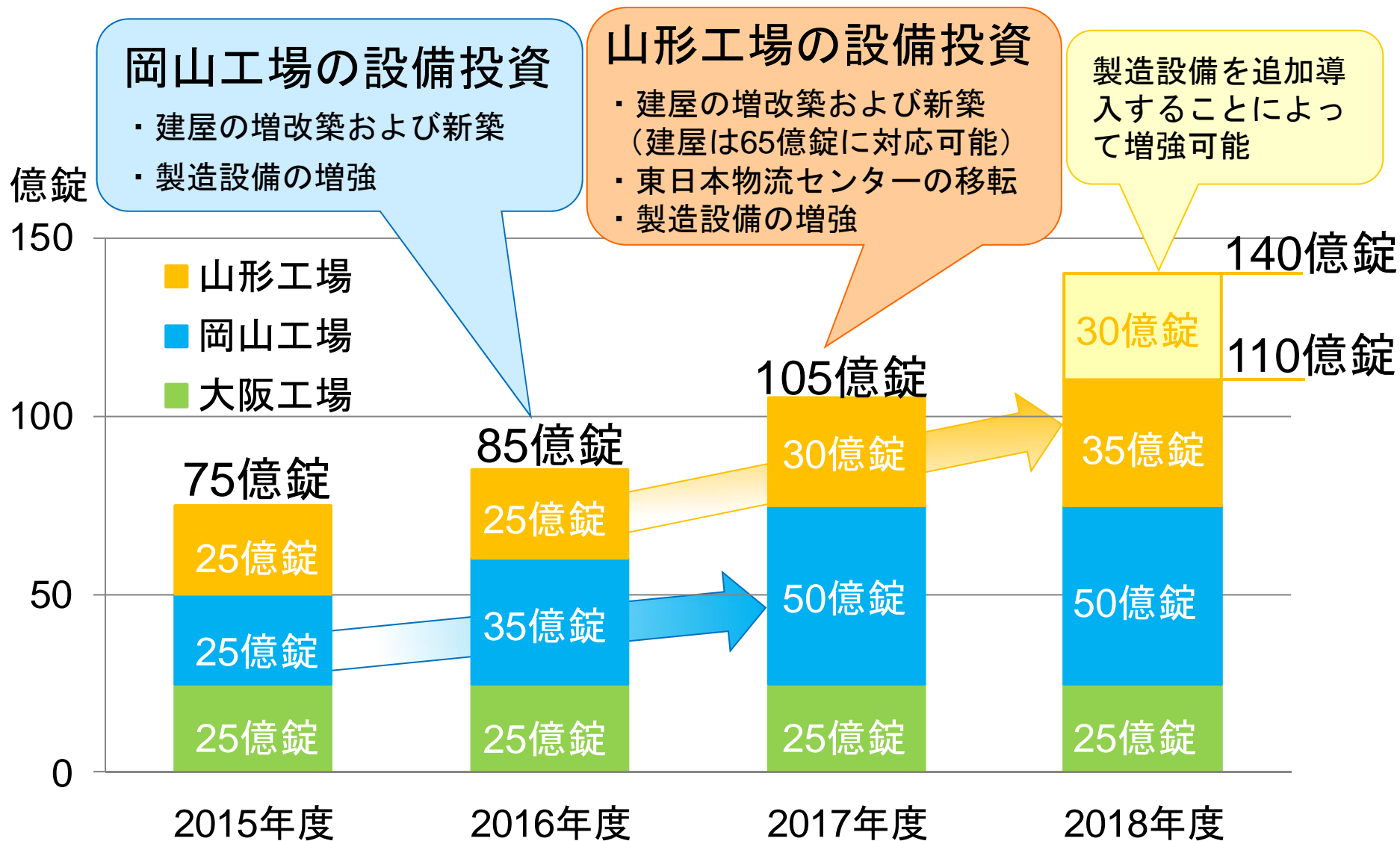
項目	17/9	17/3	増減
支払手形 及び買掛金	5,620	5,309	+ 310
電子記録債務	7,184	7,455	- 271
1年内返済予定の 長期借入金	3,178	2,681	+ 496
設備関係支払手形 及び未払金	3,447	10,365	- 6,918
その他流動負債	10,222	8,788	+ 1,433
流動負債計	29,652	34,601	- 4,948
長期借入金	46,433	39,253	+ 7,180
新株予約権付社債	15,051	15,056	- 5
その他固定負債	1,536	1,391	+ 145
固定負債計	63,020	55,701	+ 7,319
負債合計	92,673	90,302	+ 2,371
純資産合計	78,481	74,945	+ 3,536
負債・純資産合計	171,155	165,247	+ 5,908

設備投資・減価償却費

億円
300



東和薬品の生産能力増強



(2017年3月期 第2四半期決算補足説明資料より抜粋)

2017年12月追補収載予定新製品

薬効分類名	販売名	先発医薬品名 (会社名)	2016年度 売上(億円)
HMG-CoA還元酵素阻害剤	ロスバスタチンOD錠2.5mg/5mg/10mg 「トーワ」	クレストールOD錠2.5mg/5mg (塩野義=アストラゼネカ)	144
	ロスバスタチン錠2.5mg/5mg/10mg 「トーワ」	クレストール錠2.5mg/5mg (塩野義=アストラゼネカ)	920
高親和性AT1レセプターブロッカー	オルメサルタンOD錠 5mg/10mg/20mg/40mg「トーワ」	オルメテックOD錠 5mg/10mg/20mg/40mg (第一三共)	297
長時間作用型ARB	イルベサルタンOD錠 50mg/100mg/200mg「トーワ」	アバプロ錠50mg/100mg/200mg (大日本住友製薬)	216
	イルベサルタン錠 50mg/100mg/200mg「トーワ」	イルベタン錠50mg/100mg/200mg (塩野義)	
徐放性ドパミンD2受容体系作動薬	ロピニロール徐放錠2mg/8mg「トーワ」	レキップCR錠2mg/8mg (GSK)	87

12月追補品合計で初年度売上約6億円

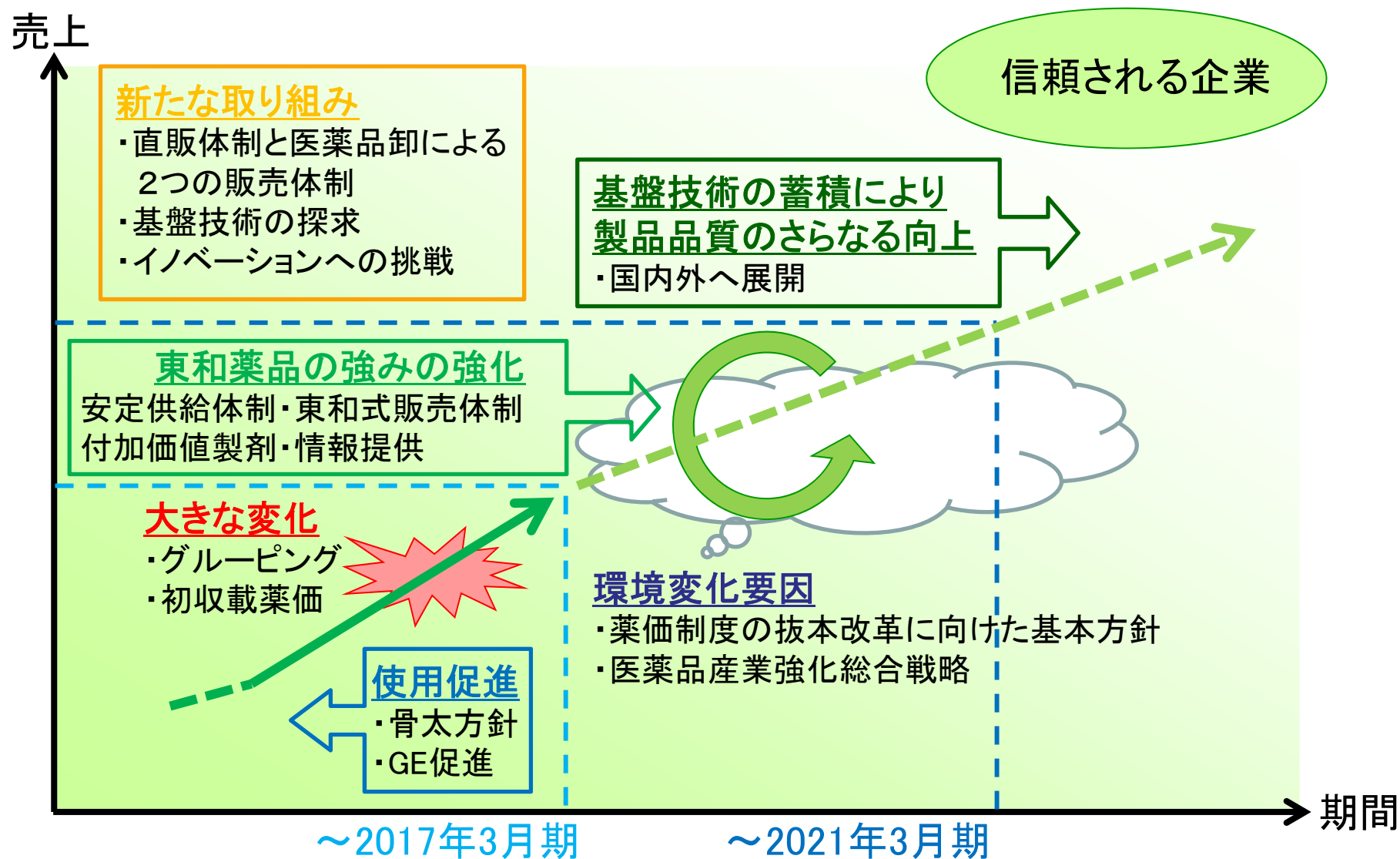
ロスバスタチン 約1.8億円

オルメサルタン 約1.7億円

など、8成分 22品目を上市予定

を計画しております。

東和薬品の経営戦略



(2017年3月期 決算補足説明資料より抜粋)

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になるこ
とがある点を認識された上で、ご利用下さい。

<お問い合わせ先>

東和薬品株式会社 広報・IR室

ir@towayakuhin.co.jp

TEL : 06-6900-9102

FAX : 06-6908-6060